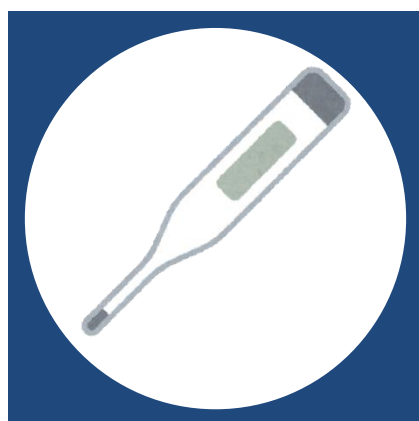


新型コロナウイルス感染症に対応した

Ver.4

学校再開ガイドライン

(令和2年12月21日版)



■CONTENTS

- 1 起床時・登校前
- 2 登校
- 3 学校での生活 ①
- 4 学校での生活 ②
- 5 給食・食事
- 6 部活動
- 7 下校後
- 8 学校において感染者等が発生した場合の対応
- 9 その他 Q&A



大崎市教育委員会

はじめに

今般の感染状況を見ますと、「第3波」と言われる、新型コロナウイルス感染症拡大のおそれが心配されています。そのような中、大崎市立の学校・園においては、感染及びその拡大のリスクを可能な限り抑え、授業や保育を継続し、通常の学校生活に近付けるよう不断の努力を続けております。

その背景には、学校再開当初からの子供たちや保護者、地域の皆様、そして学校・園職員のたゆまぬ努力と協力があったからこそであり、大崎市教育委員会としても、長期的な対応が見込まれる感染症対策が、持続可能なものとなるよう配慮することが重要であると考えております。

そのような中、文部科学省では「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル ～『学校の新しい生活様式』～」について、12月3日に5度目の改訂を行いました。

今回の本ガイドラインの改訂は、主に上記マニュアル等の見直しのあった点について着目し、前回のガイドラインを更新したものです。

各学校・園では、引き続き手洗いや咳エチケット、換気といった基本的な感染症対策に加え、感染拡大リスクが高い「3つの密」を避けるために、身体的距離の確保といった「新しい生活様式」に取り組み、感染防止に一層努めてまいります。ご家庭におかれましても、本ガイドラインを参考に、お子様と共に感染症対策に取り組んでいただければ幸いです。

最後に、今後新たな情報や知見が得られ、必要があれば、ガイドラインの見直しを随時行うものであることを申し添えます。

令和2年12月

大崎市教育委員会

1 起床時・登校前



※本ガイドライン全体をとおして、幼稚園では「学校」を「園」、また「児童生徒」を「園児」と読み替えてください。
※下線を引いている部分が前回から更新、追加したものととなります。

- ☐ 毎朝、起床時に検温を行い、健康観察カードに記録する。
- ☐ カードには、検温のほかに、咳やだるさなどの風邪の症状がないかをチェックし、記録する。カードは登校の際に持参する。
- ☐ 平熱より高かったり、また、熱のあるなしに関わらず、風邪の症状等が見られたりした場合は、学校にその状況を電話等で伝え、自宅で症状がなくなるまで休養する。なお、発熱があった場合は、原則として解熱後3日間、異状がないことを確認してから登校する。ただし、医師の許可を得ていればその限りではない。

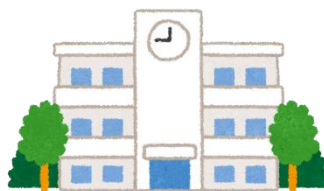
【健康観察カードの例】

〇年△組□番 氏名（ 〇〇 〇〇 ）				【平熱】 ℃	
月	起床時の体温	健康状態（あてはまるところに○をつける）			備考
	℃	良好	風邪症状	発熱 だるい その他（ ）	
	℃	良好	風邪症状	発熱 だるい その他（ ）	
	℃	良好	風邪症状	発熱 だるい その他（ ）	
	℃	良好	風邪症状	発熱 だるい その他（ ）	

- ☐ 保護者から、感染症予防のため子供を休めたいと相談された場合の学校の対応について。

新型コロナウイルス感染症の流行に対して、感染の可能性が高まっていると保護者が考えるに合理的な理由があると校長が判断する場合には、指導要録上「出席停止・忌引き等の日数」として記録し、出席しなくてもよいと認める日として扱うことができる。

2 登校



- 登校時はマスク着用を基本とする。ただし、熱中症予防の観点から、登下校中、人と2メートル以上の距離を確保できる場合は、マスクを外しても構わない。
- スクールバス利用の児童生徒は、マスクを着用し、人数に余裕がある場合は離れて座るようにする。また、窓を開けるなどして換気を努めて行うことから、寒さに耐え得る服装で乗車する。
- 登校の際は、人との間隔を1メートル程度空けるようにし、密集することのないよう注意する。
- 学校に到着した際、昇降口付近で「健康観察カード」を担当の教員に提出し、チェックしてもらう。都合で登校前に検温ができなかった児童生徒は、所定の場所で検温を行い、異状がないことを確認した後に教室に向かう。
- 学校での検温の際、平熱より高い場合や風邪の症状、体調不良などが見られる場合は、家庭に連絡の上、自宅で休養を取らせる。
- 教室に入る前に、石けんやハンドソープ等を使って手洗いをしっかり行う。
- なお、家族に感染が疑われる症状が見られたり、家族が濃厚接触者に特定されたりした場合は、感染していないことが確認されるまで登校は控える。

3 学校での生活 ①



- 学校での生活は、「密閉」「密集」「密接」のいわゆる「3密」の条件が同時に重なる場を徹底的に避ける。
- 室内では、基本的にマスクを着用して過ごすようにする。室内においては、可能な限り1メートルを目安として児童生徒間の距離を保つようにする。また、屋外で、人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクを外しても構わない。
- 授業では、「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」については、感染症予防の観点から避けるよう配慮する。
- 教室の換気は、常に対角線上の2カ所の窓・ドアを開けるようにする。休み時間になったら、その都度他の窓やドアも開け、さらに換気を徹底する。
- 普段の掃除について、床は通常の清掃活動の範囲で行い、机や椅子についても、特別な消毒作業は行わず、必要に応じて家庭用洗剤等を用いた拭き掃除を行う。
- 大勢がよく手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は1日1回、水拭きした後、消毒液を浸した布巾やペーパータオルで拭くようにする。
- 様々な場所にウイルスが付着している可能性があるので、外から教室等に入る時やトイレの後、給食の前後、掃除終了後など、流水と石けんやハンドソープ等でこまめに手を洗うようにする。

4 学校での生活 ②



- 学校では、教室や廊下などに国で作成した「咳エチケット」や「手洗い」のポスターを掲げ、学校全体で感染予防に取り組む。
- 集会を伴う行事等については、「3密」の条件が同時に重なる場を避けることができるかを見極めつつ、実施の有無や方法などを判断する。
- 修学旅行など、宿泊を伴い、県をまたいで行う行事については、対象地域の感染状況等を鑑み、安全面に十分配慮しながら実施の有無を含めて検討を行う。
- 校外学習についても、不特定多数の人と接触することが想定されるものについては見直しを図り、実施場所、方法等を十分に検討する。

【ポスター（出典：首相官邸ホームページ）】

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>



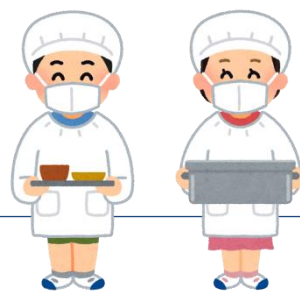
手洗い
(PDF : 887KB)



咳エチケット
(PDF : 914KB)



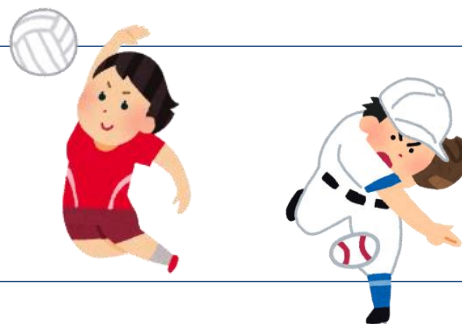
5 給食・食事



- ☐ 給食当番の児童生徒は、下痢や腹痛、吐き気等の症状の有無、マスクや清潔なエプロン等を着用しているか、手をしっかり洗っているかなど、毎日チェックを行う。
- ☐ 当番以外の児童生徒全員も、食事の前にしっかり手洗いを済ませておき、食事の直前までマスクを着用する。
- ☐ 食事をする時は、机を向かい合わせないようにし、座席の間隔をできるだけ空けて、また飛沫を飛ばさないように会話を控えるようにする。
- ☐ 学校の規模によっては、教室以外の場所を活用するなどし、食事場所を分散させるような工夫を取り入れる。
- ☐ 食事が各自済み次第、マスクを着用する。
- ☐ 食器を片付ける際、多くの児童生徒が密集して一度に行わないよう工夫する。



6 部活動



- 部活動は生徒の自主的、自発的な参加により行われる活動であるが、生徒の健康・安全の確保のため、生徒だけに任せるのではなく、顧問や外部指導者等が部活動の実施状況を把握し、「3密」を回避するための対策を確実に行う。
- 活動場所については、可能な限り屋外で実施することが望ましい。ただし気温が高い日などは、熱中症に注意する。屋内での実施については、こまめな換気や、手洗いを徹底すること。また、長時間の利用は避け、十分な距離を確保できるよう、少人数による利用を心がけること。特に、屋内において多数の生徒が集まり呼気が激しくなるような運動や大声を出すような活動等は避けること。
- 用具等については、生徒間で不必要に使い回しをしないこと。
- 疲労により免疫力が下がり、抵抗力低下を防ぐため、過度な運動は控える。部活動顧問等の指導の下、部員同士がアイディアを出し合い、協力し合って、より短時間で効果的な活動となるよう工夫する。
- 部室等の利用については、短時間の利用としたり、一斉に利用しないようにしたりするなど、密集を防ぐようにする。
- 大会やコンクール等の参加、練習試合、合宿等の実施については、競技、演技、演奏時等とはもとより、活動場所への移動時や飲食、控室等の利用時などにおいても、感染症予防対策を事前に確認した上で確実に実行し、感染拡大を防止する。



7 下校後



- 基本的な感染症対策の一つに「抵抗力を高めること」が挙げられ、免疫力を高めるために「十分な睡眠」、「適度な運動」及び「バランスの取れた食事」を心がけるようにする。
- 下校する時は登校時と同様、密集とならないよう注意し、直ちに帰宅する。帰宅の際は、風邪やインフルエンザ等を予防するために手洗いやうがいをしっかり行い、また、疲労回復のために静かに過ごすようにする。帰宅後は不要不急な外出は避ける。
- 帰宅後の学習については、授業で学んだことを振り返ったり類似の問題に取り組んだりして、学習内容をしっかり理解し確実に身に付けられるようにする。



【参考】家庭学習に利用しやすいWEB サイト

宮城県教育委員会：「みやぎ単元問題ライブラリー」

http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/tangen/question_top.html



文部科学省：「学びの応援サイト」

～臨時休業期間における学習支援コンテンツポータルサイト～

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm



- テレビやゲームの時間、またスマホ等による SNS 利用や音楽鑑賞、動画視聴について、長時間の利用は学習意欲の低下にもつながると考えられることから、家庭において適切にルールを設けるようにする。良質な睡眠が得られるよう、スマホやテレビ等の利用は、就寝の 2 時間前までに終わらせるのが望ましい。

8 学校において感染者等が発生した場合の対応

- 児童生徒や教職員に新型コロナウイルスの感染が認められ、感染拡大防止等の措置が必要と判断された場合は、学校の全部又は一部の臨時休業措置を行う。期間については、保健所による濃厚接触者の範囲の特定や検査に必要な日数、及び施設の消毒が完了するまでを原則とする。ただし、当該校でほかに感染が見られず、濃厚接触者に特定される者もないなど、校内での感染リスクが極めて低いと判断される場合は、臨時休業とはならないことがある。

- 学校において感染者等が発生した場合の対応について

(1) 児童生徒や教職員の感染者が発生した場合



① 学校への連絡

- ・ 感染が判明した場合には、医療機関から本人もしくは保護者に診断結果が伝えられるので、その後速やかに学校に連絡する。その後、保健所による感染者本人への行動履歴等の聞き取りが行われる。

② 感染者や濃厚接触者の出席停止

- ・ 児童生徒の感染が判明した場合又は児童生徒が感染者の濃厚接触者に特定された場合には、出席停止の措置を取る。濃厚接触者に対して出席停止の措置を取る場合の出席停止の期間の基準は、感染者と最後に濃厚接触をした日の翌日から2週間とする。

③ 校舎内の消毒

- ・ 保健所から校舎内の消毒が必要との判断があった場合は、学校は保健所及び学校薬剤師等と連携して消毒を行う。専門業者による消毒が考えられるが、保健所の指導を受けながら消毒作業を進める。

(2) 学校内で体調不良者が発生した場合の対応

- ・ 学校内で、発熱等の風邪症状が発生した場合には、保護者等の協力を得ながら安全に帰宅させ、当該児童生徒は症状がなくなるまで自宅で休養する。その期間については、「出席停止」扱いとする。

9 その他 Q&A



Q1. 冬季における換気について、どのような点に留意すればよいのでしょうか。

A1. 文部科学省で示すマニュアルには、次のように示されています。

冷気が入り込むために窓を開けづらい時期ですが、空気が乾燥し、飛沫が飛びやすくなることや、季節性インフルエンザが流行する時期でもありますので、徹底して換気に取り組むことが必要です。気候上可能な限り、常時換気に努めてください（難しい場合には30分に1回以上は窓を全開にします）。

※「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」（文部科学省）から引用

ほかにも、常時換気をする方法として、窓を開ける幅は10 cmから20 cm程度を目安とし、また、常時換気が困難な場合は、こまめに（30分に1回以上）数分間程度、窓を全開にすると示されています。

以上のことから、換気による室温低下による健康被害が生じないよう、児童生徒に温かい服装を着用させるなどの配慮が必要となります。

Q2. もし児童生徒が感染した場合、学校は必ず臨時休業となるのでしょうか。

A2. 9月3日に文部科学省から出された前回のマニュアルでは、感染者が判明した時点で直ちに臨時休業を行う対応について示されていました。今回の改訂ではこのことが見直され、「学校の全部または一部の臨時休業を行う必要があるかどうかについては、設置者（ここでは大崎市）が、保健所の調査や学校医の助言等を踏まえて検討し判断する。」と示されています。

本市においては、もし感染が確認され、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合などには、その感染が広がっているおそれの範囲に応じて、学級単位、学年単位又は学校全体、場合によっては中学校区などの地域単位の臨時休業措置を検討・判断します。また、学校内での感染リスクが極めて低いと判断した場合は、臨時休業とはならないこともあります。

【参考資料】

- 学校再開に向けたガイドライン（群馬県版）
- 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル
～「学校の新しい生活様式」から（2020.12.3Ver.5）
- 新型コロナウイルス感染症に対応した小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における教育活動の再開に関するQ＆A（文部科学省）
- 新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領（国立感染症研究所 感染症疫学センター）

【お問い合わせ】

大崎市教育委員会学校教育課

〒989-6492 大崎市岩出山字船場 21 番地 Tel0229-72-5033